

体育会学生の就職活動状況調査(2019年4月～5月)

2019年5月

6月の選考解禁を目前とした4月・5月の体育会学生の就職活動はどのようになっているでしょうか。5月末時点での「アスプラ2020」利用中の学生へ就職活動について、アンケート調査を行いました。

【調査概要】

調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生

回答件数：2019年4月184件・2019年5月89件

調査方法：インターネット調査

調査期間：2019年4月10日～17日、2019年5月10日～17日

【TOPICS】

▼選考の参加状況

4月時点で全体の9割（94.0%）が本選考に参加。参加社数も5月時点で56.1%が6社以上と複数の選考に参加している。

▼内定率について

5月時点での内定率は55.1%。3月時点（11.3%）より43.8ポイント上昇。「納得できる企業からの内定が出たら就活を終了する」という学生が5割弱（49.4%）。

▼志望する業界

本調査から3月時点まで1位を獲得してきた「食品・飲料業界」が、4月時点（6.2%）で5.2ポイント下降。

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。

資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報担当

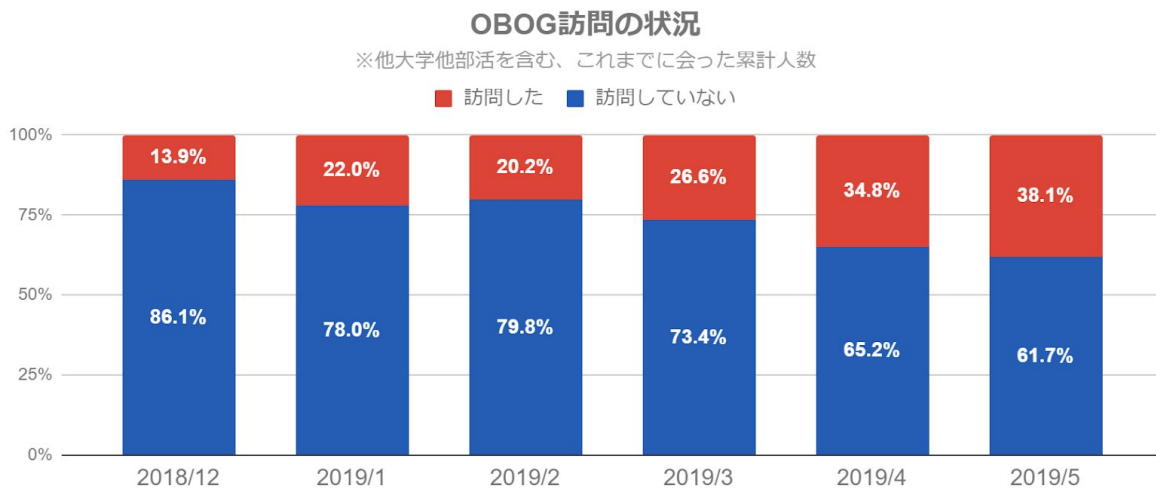
Tel: 03-5937-8460（受付時間：9:00～18:00/土日祝日を除く）

Mail: athlete2020@asupura.com

◆OBOG訪問の状況

OBOG訪問をした学生は5月時点では38.1%と、前月調査発表時（26.6%）よりさらに11.5ポイント増加致しました。訪問人数の「5名以上」も3月時点より徐々に増し、5月は6.8ポイント増加という結果となりました（4.4%→9.2%→11.2%）。

3月の採用情報解禁前までは動きが少ないように見えたOBOG訪問ですが、情報解禁後からOBOGとの繋がりを活かし、積極的に訪問しリアルな情報を収集して自信の就職活動へ活かそうとしているように伺えます。



| | '18/12 | '19/1 | '19/2 | '19/3 | '19/4 | '19/5 |
|-------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0名(訪問するつもりはない) | 13.9% | 19.1% | 28.4% | 32.5% | 41.8% | 53.9% |
| 0名(これから訪問したい) | 68.3% | 53.0% | 47.3% | 37.9% | 22.8% | 6.7% |
| 0名(これから訪問する予定がある) | 3.9% | 5.9% | 4.1% | 3.0% | 0.5% | 1.1% |
| 1名 | 5.7% | 9.3% | 6.2% | 8.4% | 10.9% | 6.7% |
| 2名 | 3.0% | 4.2% | 5.1% | 4.4% | 6.0% | 10.1% |
| 3名 | 0.9% | 3.0% | 2.7% | 5.9% | 5.4% | 7.9% |
| 4名 | 0.9% | 1.3% | 1.0% | 3.4% | 3.3% | 2.2% |
| 5名以上 | 3.5% | 4.2% | 5.1% | 4.4% | 9.2% | 11.2% |

◆インターンシップの参加状況

今回の調査時点でインターンシップへの参加経験がある学生は、4月の調査発表からほぼ横ばいではあるものの、「参加した」と答えた学生が4月は69.6%、5月は3月（79.8%）より6.8ポイント減少した73.0%となりました。

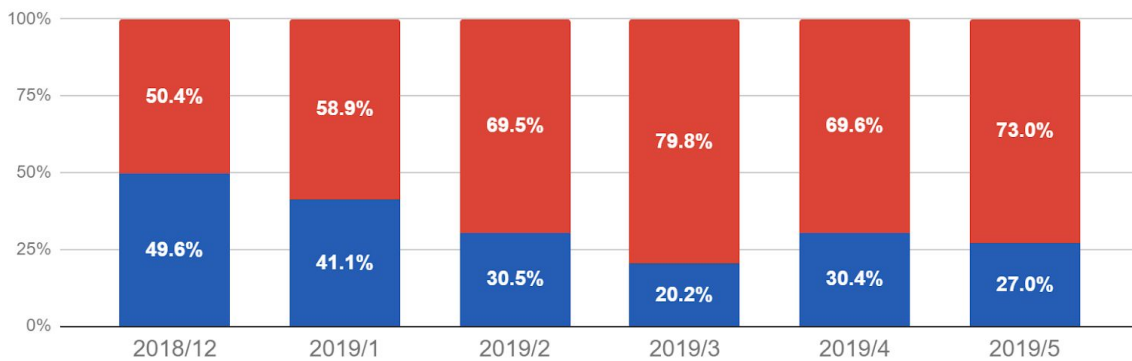
またインターンシップへ参加した学生の傾向より、「半日」「丸1日」が平均して全体の約8割を占めています。次に回答数の多い「3日間」は1月～2月、「5日間」は12月～2月に集中しています。

勉強と部活動の両立で忙しいと言われやすい体育会学生ですが、少ない日数のインターンシップや、冬休みを利用して積極的に参加している様子がうかがえます。

インターンシップの参加状況

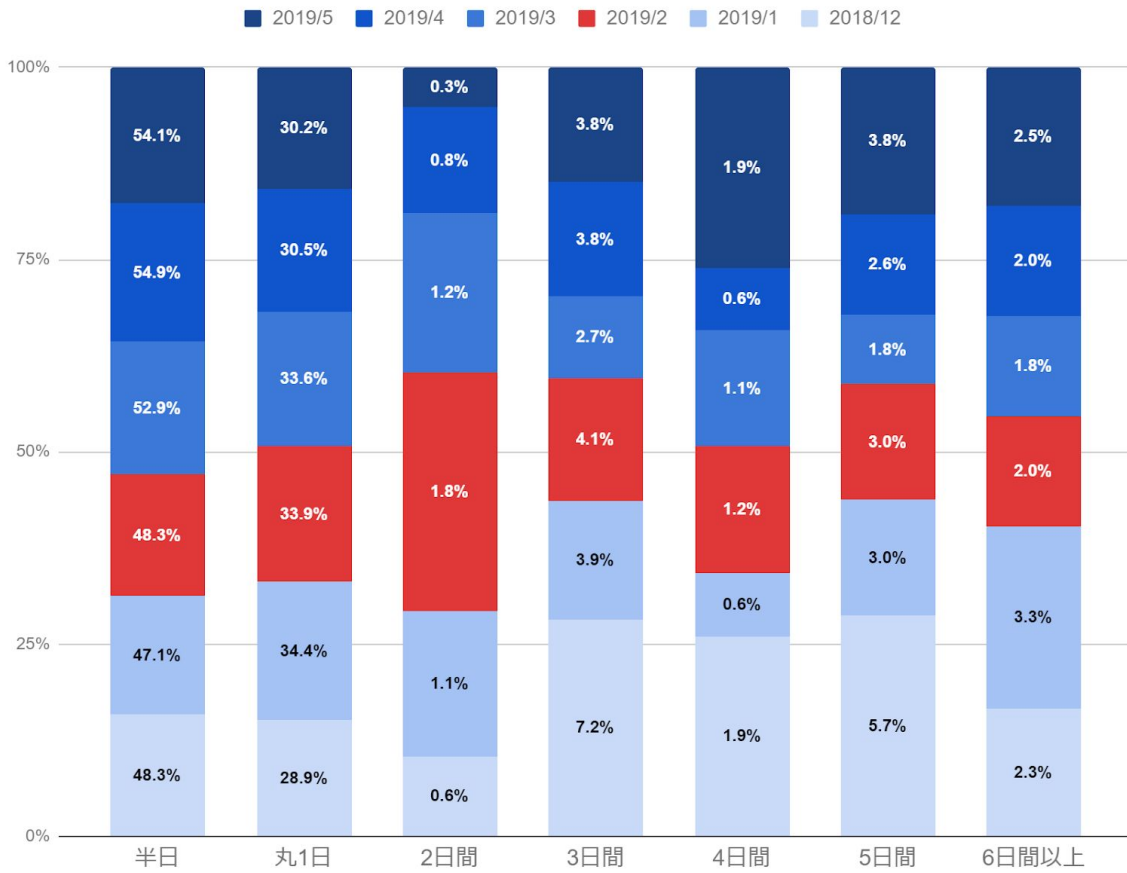
※これまでに参加したもの全て

■ 参加した ■ 参加していない



| | '18/12 | '19/1 | '19/2 | '19/3 | '19/4 | '19/5 |
|-------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 0社(参加するつもりはない) | 6.5% | 7.6% | 8.2% | 12.3% | 23.9% | 20.2% |
| 0社(これから参加したい) | 29.6% | 20.3% | 13.0% | 6.9% | 5.4% | 6.7% |
| 0社(これから参加する予定がある) | 13.5% | 13.1% | 9.2% | 1.0% | 1.1% | 0.0% |
| 1社 | 17.4% | 19.5% | 16.4% | 18.2% | 13.6% | 21.3% |
| 2社 | 11.7% | 11.4% | 13.0% | 13.3% | 14.1% | 15.7% |
| 3社 | 9.6% | 10.6% | 13.4% | 11.8% | 13.0% | 13.5% |
| 4社 | 3.5% | 5.5% | 6.2% | 9.4% | 6.0% | 12.4% |
| 5社以上 | 8.3% | 11.9% | 20.5% | 27.1% | 22.8% | 10.1% |

参加したインターンシップの日数



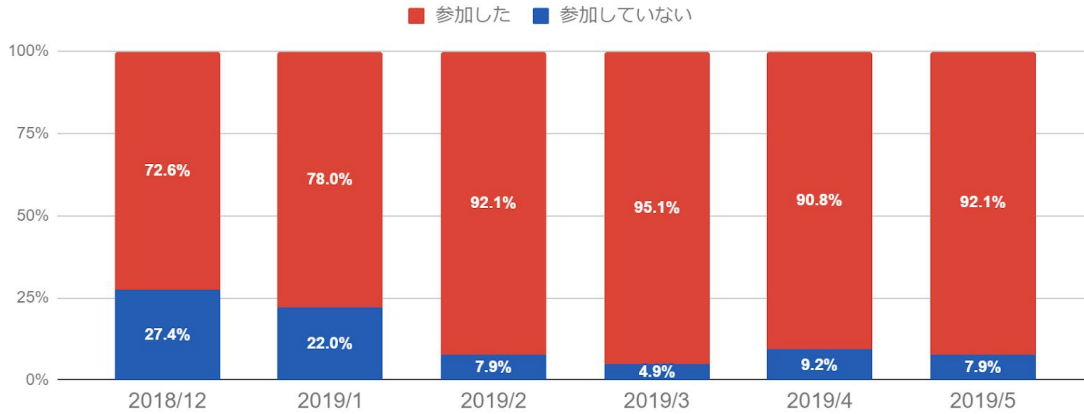
◆就職活動状況

○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

合同企業説明会は4月に90.8%、5月は92.1%と回答学生の9割が参加した結果となりました。なかでも複数回（2回以上）参加した学生は5月時点で全体の8割（84.2%）に上り、また参加数のピークは合同企業説明会が多く開催され、多くの部活のオフシーズンと重なる2月・3月となりました。

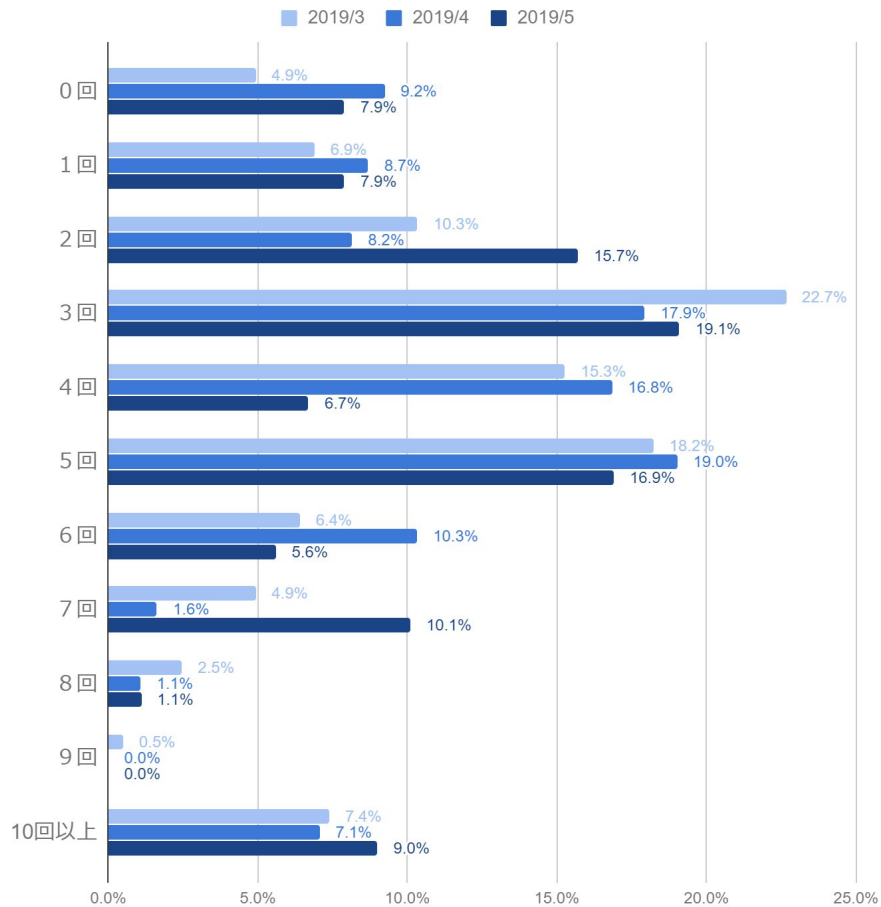
合同企業説明会の参加状況

※学内開催の合同説明会を除く、これまでに参加した累計



合同企業説明会の参加回数

※学内開催の合同説明会をのぞく、これまでに参加した累計

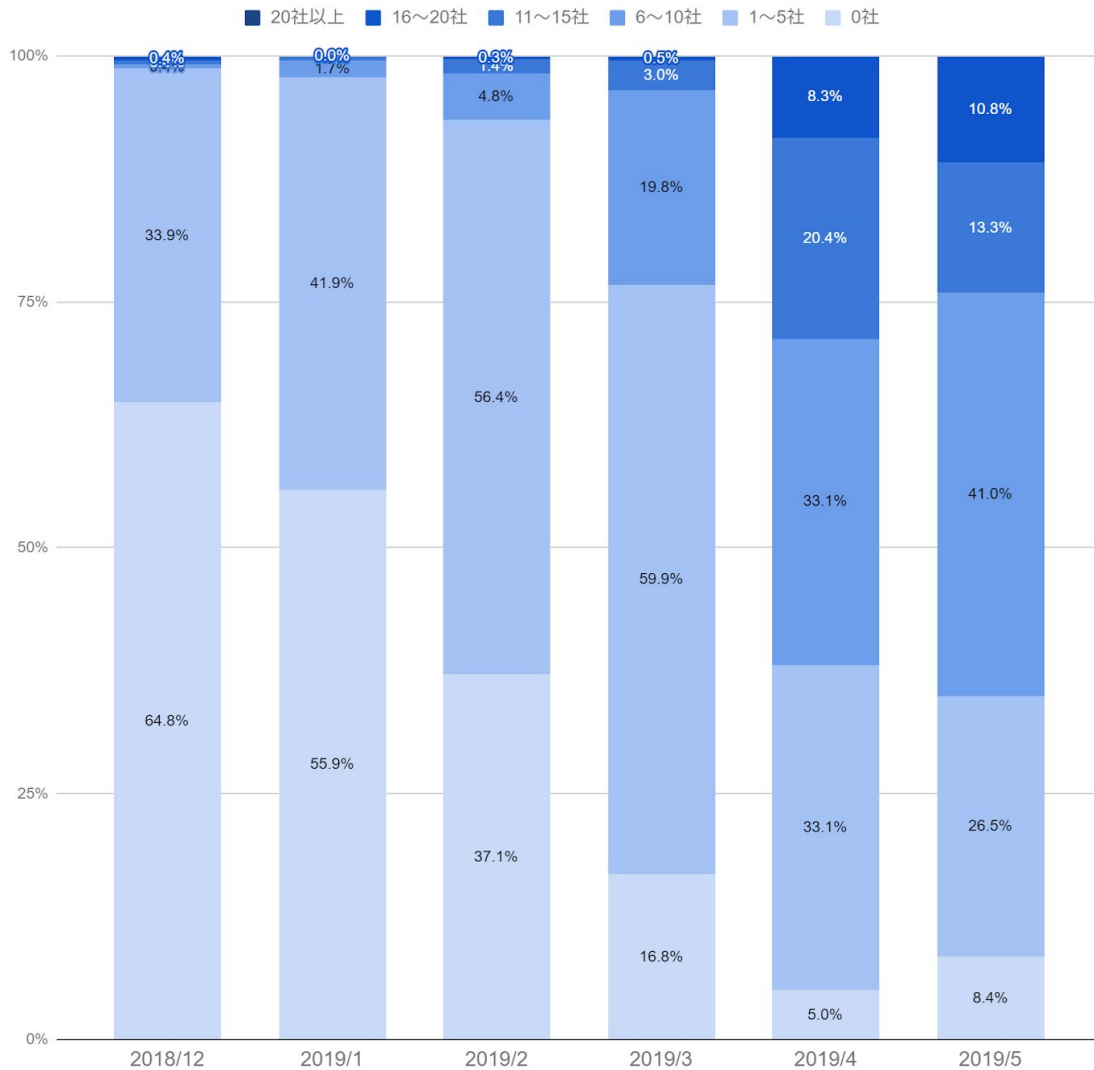


個社説明会への参加数は過去回答数の多かった「1～5社」に動きがあり、5社以上の回答数が3月から4月では38.6ポイントの大幅な増加となりました（23.3%→61.9%）。その中でも「11～15社」は3月（3.0%）から4月（20.4%）で17.4ポイントの増加。

なお、5月の調査では65.1%の学生が5社以上の説明会へ参加しており、そのうち「6～10社」の参加が41.0%と最も多い結果となりました。情報解禁がされた3月以降の学生の積極的な動きがうかがえます。

個社説明会の参加状況

※インターンシップの為の説明会やインターンシップを含まない、これまでに参加した累計の企業数



○エントリー数・エントリーシートの提出数

エントリー数については依然「6～10社」が全体の2割（22.5%）を占めています。4月では「11～15社」が21.7%と前月より8.9ポイント（12.8%）増加、5月では「21～25社」が4月より7.5ポイント（6.0%）増加と、一人当たりのエントリー数が徐々に増加している様子がうかがえます。

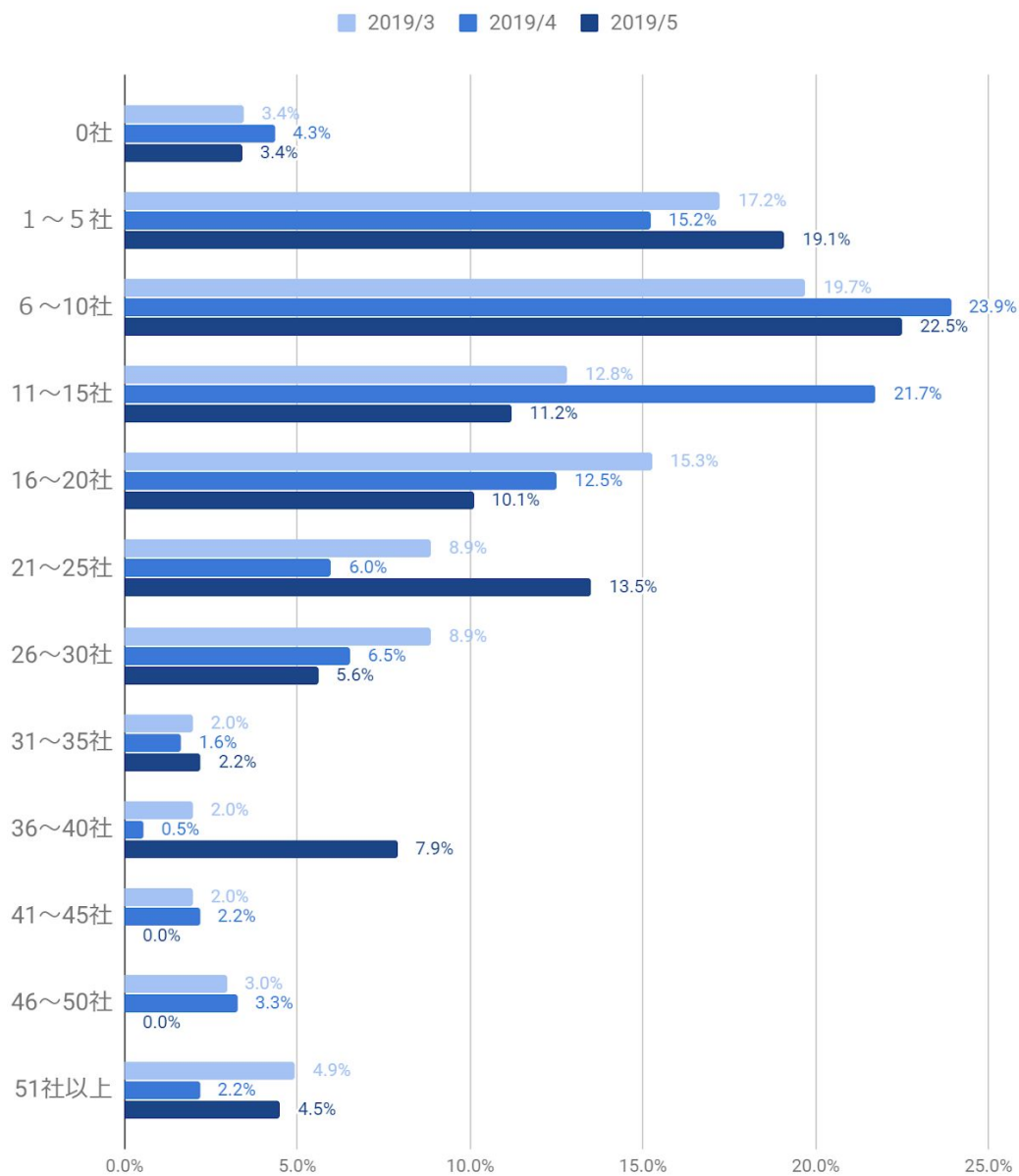
また、エントリーシートの提出数は前回調査から大きく変動がありました。3月時点では35.5%の学生が「0社」と回答していたのに対し4月では8.7%、5月には5.6%と29.9ポイント減少。回答した学生の9割以上がエントリーシートを提出し、選考へ向けて本格的に動いているようです。

さらに4月では25社以上の回答が無かったのに対し、5月になると6.7%に増加と全体的に提出数が増えました。今回の調査より、大学生全体のエントリーシートの提出数93.4%（※）と体育会学生のエントリーシートの提出数の割合の差がほとんどなくなりました。

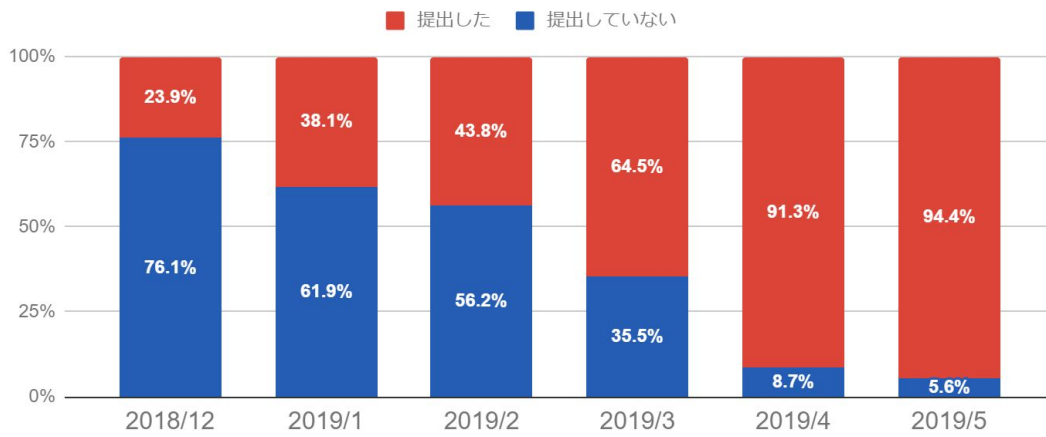
（※）『キャリアタス就活 2020 学生モニター調査結果（2019年5月発行）』

エントリー数

※インターンシップを含まない、これまでにエントリーした企業の累計

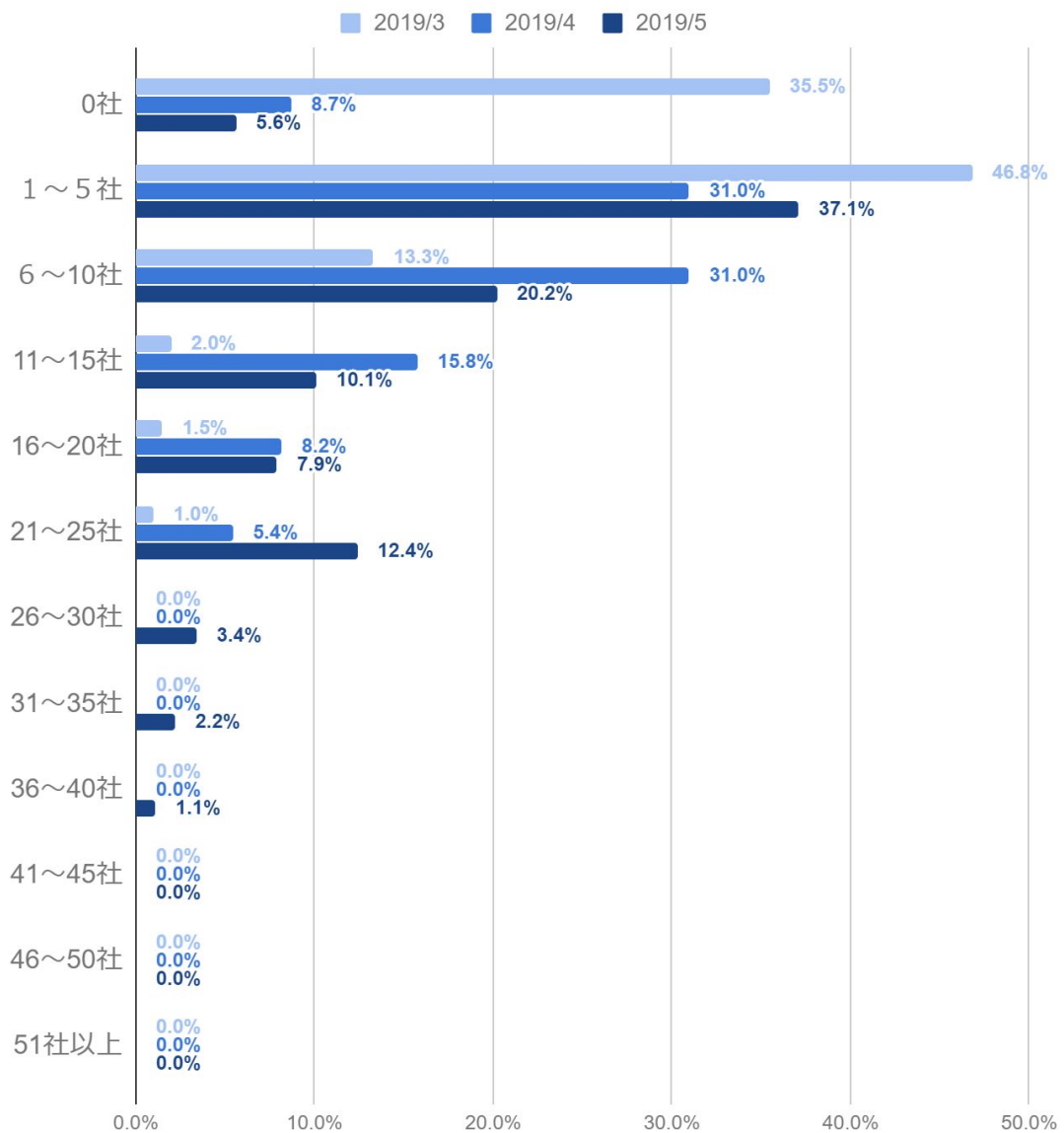


エントリーシートの提出状況



エントリーシートの提出数

※インターンシップ選考のための書類提出は含まない、これまでに提出した企業の累計



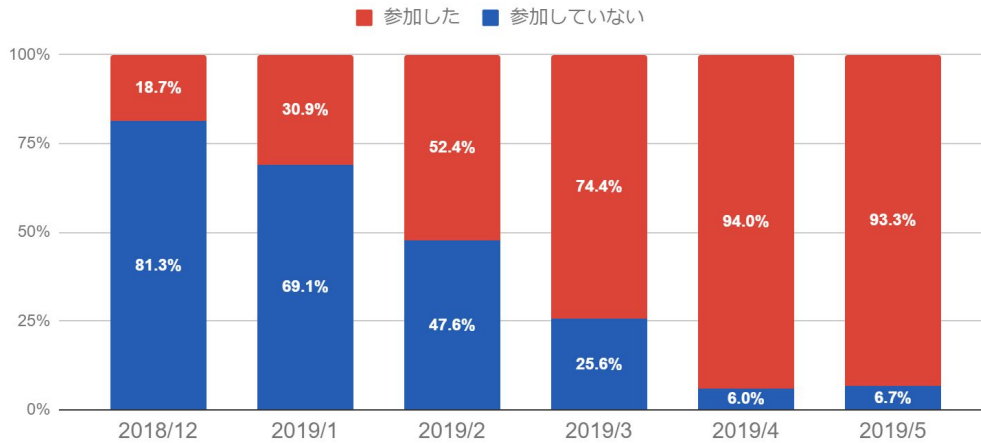
○本選考への参加・内定取得状況

4月時点では全体の9割が本選考へ参加している結果となりました。これは3月から19.6ポイントの増加となり（74.4%→94.0%）、4月以降の5月も同様の結果となりました。

また4月から5月では本選考へ参加した社数に変化が見られ、4月時点では「1～5社」が51.1%だったのに対し、5月（37.1%）は14ポイント減少。さらに5月は「16～20社」が10.1%と4月（1.1%）より9ポイント上昇し、多くの学生が今年の大連休の前後までに6社以上の複数社受験した結果となりました。今後多くの体育会学生は7月以降大会などを控えているため、この4月～6月に選考のピークを迎えると推測されます。

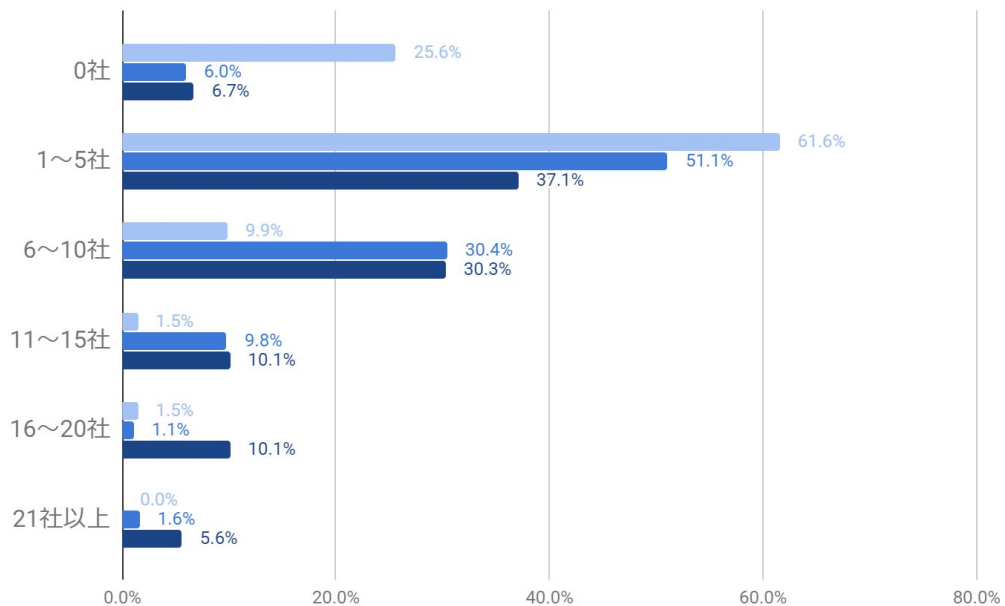
本選考参加状況

※インターンシップ選考を含まない、これまでに参加した企業の累計



本選考参加状況＜参加社数＞

■ 2019/3 ■ 2019/4 ■ 2019/5

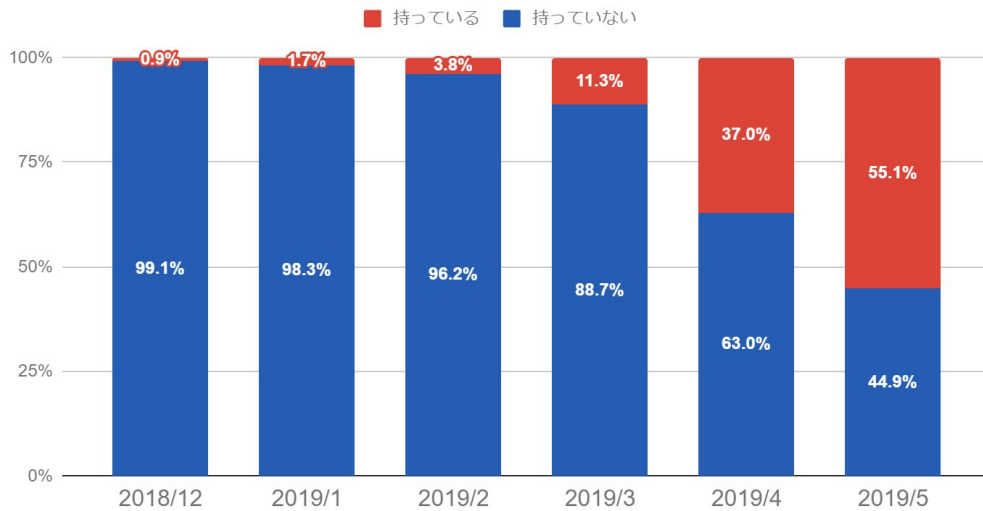


内定の取得状況は5月時点で55.1%と4月から比較して18.1ポイント上昇と半数を超えました。選考の早期化と大型連休前に内定を出す企業が多かったことで、このような結果になったと思われます。

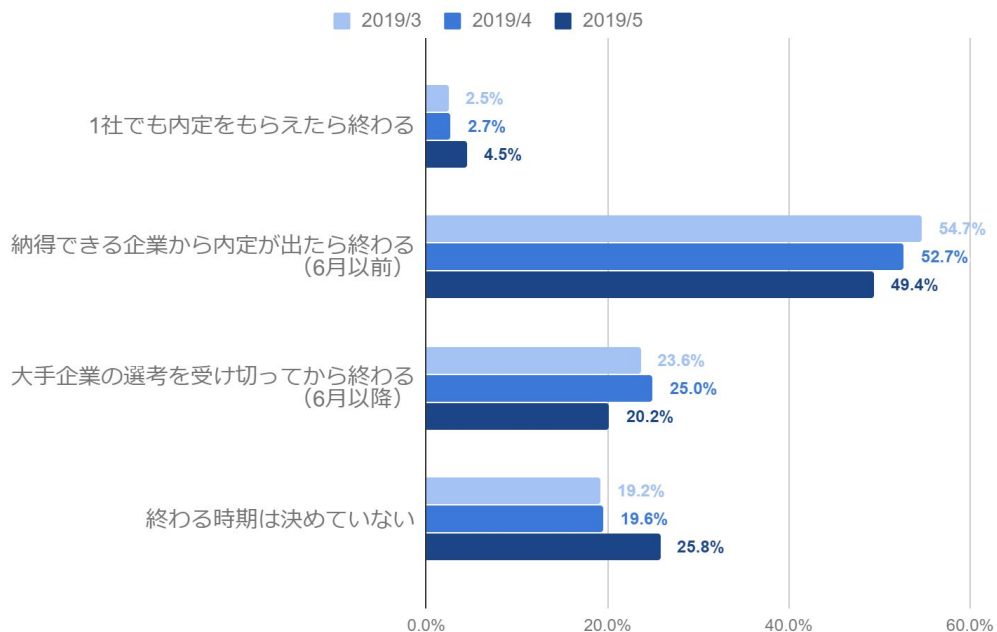
また、就職活動を終了しようと考えている時期に関しては「納得する企業から内定が出たら終わる（6月以前）」が49.4%と最多となっていますが、3月から徐々に減少（54.7%→52.7%→49.4%）。反対に「終わる時期は決めていない」が4月（19.6%）から6.2ポイント増加の25.8%になりました。これから夏に向けてスケジュールが過密になってきやすい体育会学生ですが、6月の選考解禁を目前に、内定の有無に関わらず就職活動の継続を今一度考えているためと推測されます。

内定取得状況

※内々定を含む



就活を終了しようと考えている時期



◆志望する職種・業界

○志望する職種・業界

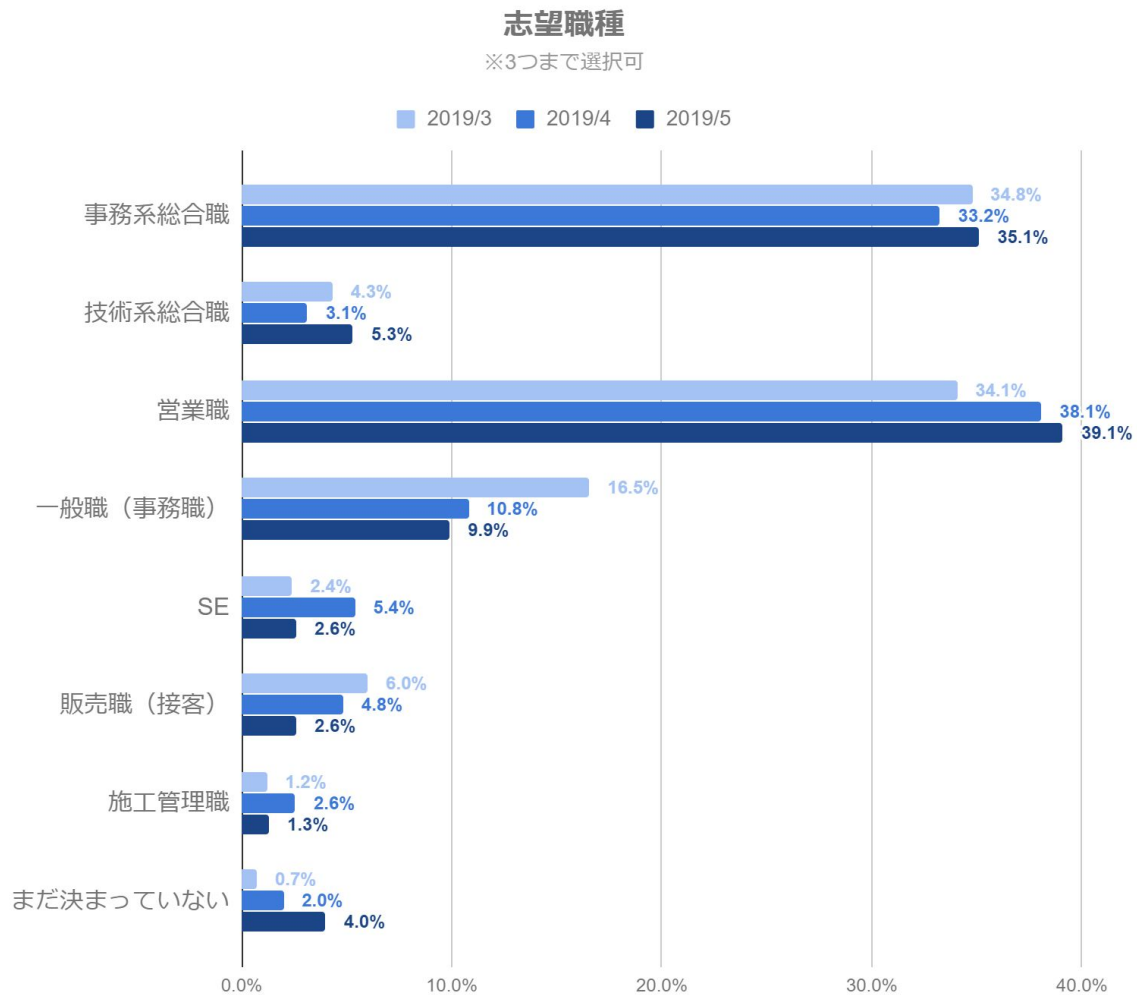
志望業界では3月時点から上位20業界の中でも、体育会出身者が多く、志望する業界として上位にあった「食品・飲料業界」に大きな変化が見られました。昨年の12月より今年3月の調査時（11.4%）まで続けて1位を獲得していましたが、4月時点には6.2%と5.2ポイントの減少。

また「金融」は徐々に増加しており、続いて「IT」「電機・機械」「化学」と体育会学生にとって苦手なイメージを持たれやすい業界は前回の調査発表（3月）から増加傾向にあり、体育会学生の業界への視野の広がりがうかがえます。

| | 2018年12月 | 2019年3月 | 2019年4月 | 2019年5月 |
|----|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 1 | 食品・飲料 10.6% | 食品・飲料 11.4% | 不動産・建設 9.6% | 金融 9.7% |
| 2 | 総合商社 9.3% | 総合商社 9.2% | 総合商社 8.4% | 総合商社 9.2% |
| 3 | 不動産・建設 8.5% | 不動産・建設 9.0% | 金融 8.4% | 食品・飲料 7.0% |
| 4 | 金融 7.8% | 金融 8.6% | スポーツ 7.4% | 不動産・建設 6.5% |
| 5 | スポーツ 7.0% | 鉄道・航空 5.9% | 食品・飲料 6.2% | 電機・機械 5.9% |
| 6 | 鉄道・航空 6.8% | スポーツ 5.3% | IT 5.5% | スポーツ 4.9% |
| 7 | TV・広告 6.0% | インフラ 4.5% | 鉄道・航空 5.3% | IT 4.9% |
| 8 | コンサル 3.3% | 自動車 3.7% | 人材 4.5% | 鉄道・航空 4.9% |
| 9 | 人材 3.3% | IT 3.5% | 物流・運輸 3.8% | 公務員 4.3% |
| 10 | 公務員 3.2% | 人材 3.5% | その他 3.6% | インフラ 4.3% |
| 11 | 旅行 2.8% | TV・広告 3.1% | 電機・機械 3.3% | その他 3.8% |
| 12 | IT 2.3% | 公務員 3.1% | 公務員 3.3% | 自動車 3.2% |
| 13 | 物流・運輸 2.2% | コンサル 2.7% | 自動車 3.1% | 化学 3.2% |
| 14 | 新聞・出版 2.2% | 電機・機械 2.7% | インフラ 3.1% | 化粧品・日用品 3.2% |
| 15 | 自動車 2.0% | 化粧品・日用品 2.3% | コンサル 2.4% | 人材 2.7% |
| 16 | インフラ 2.0% | その他 2.2% | 鉄鋼・非鉄金属 2.2% | 通信 2.2% |
| 17 | 化粧品・日用品 2.0% | 物流・運輸 2.0% | 教育 2.2% | ホテル 2.2% |
| 18 | 化学 1.8% | 旅行 1.8% | 通信 1.9% | 製薬 2.2% |
| 19 | アミューズメント 1.8% | ホテル 1.8% | TV・広告 1.9% | 物流・運輸 1.6% |
| 20 | ホテル 1.7% | 音楽・映画 1.4% | ホテル 1.9% | コンサル 1.6% |

志望職種は「営業職」が3月から5月にかけて5ポイント増加（34.1%→38.1%→39.1%）。「一般職（事務職）」は3月時点（16.5%）から6.6ポイント減少し、「事務系総合職」と「営業職」に集中した結果となりました。

また、4月時点で「SE」（5.4%）は2.8ポイント減少、「施工管理職」（2.6%）も1.3ポイント減少しており、変わりに「まだ決まっていない」が5月で4.0%と増加しています。これは実際に説明会の参加や選考を受験するにつれて企業理解や仕事への理解が深まり、職種を再度検討する学生が増え始めている為と思われます。



○企業選びの軸

本選考への参加率が9割となった5月時点でもトップは引き続き17.9%の【安定性】。昨年12月のアンケート調査時から変わらず、学生の中で企業を選択する上でのひとつの基準として確立されています。なお【社会的交流性】が3月より徐々に減少しているものの、5月時点で11.6%と3月より引き続き【安定性】の次の軸として選ばれています。

さらに部活動での成長経験を持ち、それを活かしたいという思いのある体育会学生の特徴のひとつ【成長性】が徐々に伸びています（8.3%→9.7%→11.2%）。

また上位2軸以下の大きな変動はなく、全体的に3月からの志向を保ちつつ就職活動を継続している様子が見えます。

